

# 令和7年度 甲斐市定例監査実施報告書

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、次のとおり監査を実施した。

## 第1 監査の対象

部局名	課名
市長公室	秘書課 政策戦略課
総務部	総務課 人事課 アセットマネジメント推進課 敷島支所市民地域課 双葉支所市民地域課
財政部	財政課 税務課 収納課
市民生活部	市民戸籍課 保険課 市民協働推進課 スポーツ振興課
環境産業部	脱炭素社会推進課 環境森林課 産業創造課 農政課
福祉部	福祉課 障がい者支援課 長寿推進課
こども子育て健康部	子育て支援課 健康増進課
まちづくり振興部	建設課 都市計画課 建築住宅課
公営企業部	上下水道業務課 上下水道工務課
	防災危機管理課
	会計課
教育部	教育総務課 学校教育課 生涯学習文化課
議会事務局	

## 第2 監査の期間

令和7年10月17日（金）から10月29日（水）まで

## 第3 監査の場所

甲斐市役所 本館4階 理事者控室

## 第4 監査の方法

本年4月から9月までの6か月間に執行された事務事業について、財務に関する事務の執行が法令等の定めるところに従い、適正かつ正確に行われているか、また、事務の執行状況が合理的かつ効率的に行われているかを主眼として監査を実施した。監査に当たっては、事前に監査資料の提出を求め、関係書類等を審査し、関係職員から執行状況の説明を聴取するとともに、各所属の業務目標等についても説明を受け、質疑を加える等の方法により実施した。

## 第5 監査の結果

各所属における財務に関する事務の執行状況は、概ね適正に処理されているものと認められたが、次の点について課題への取組と一層の創意工夫をされたい。

なお、監査時に気付いた事務処理上の簡易的な事項については、その都度口頭で指摘し、改善等を要請したので記述を省略した。

- (1) 事業の実施においては、国県等の有効な補助金等を十分に調査研究し、市の財政負担軽減のためにも大いに活用している点は評価できる。  
今後も、クラウドファンディング等による自主財源の確保に一層努めるとともに、その活用にあたっては、特定の1事業に留まらず、幅広く複数の事業に応用できるよう調査・研究されたい。
- (2) 監査での指摘事項・検討課題は部課内はもとより、関係課とも連携と情報の共有を図り、適切な事務の執行に努められたい。
- (3) 職員の長時間勤務の慢性化については多くの課で解消を業務目標としているが、課だけでなく全庁での問題である。業務内容の見直しや原因究明にあたっては、BPR(Business Process Re-engineering)等を活用しながら改善に努められたい。
- (4) 各課における事業の計画・実施・改善等については、政策戦略課の予算を活用し、他市・他県の先進事例の視察等を積極的に実施し、調査研究を進められたい。

## 各所属個別事項

### 【市長公室】

#### ○秘書課

- ・市が表彰を行う場合、表彰者へ授与する記念品について今後検討されたい。
- ・シティープロモーションについては、トレンドを早めに掴み、魅力発信する広報方法も関係課と協力しながら進められたい。

#### ○政策戦略課

- ・次世代公共交通(自動運転 EV バス)については、引き続き費用対効果及び課題について検証されたい。
- ・国勢調査は交付金等の算定基礎となる大切な調査であるため、回答方法等の広報を積極的に行い、正確な数字を国へ報告できるよう努められたい。

### 【総務部】

#### ○総務課

- ・「(仮称)甲斐市職員カスタマーハラスメント対策基本方針」を策定し市民へ公表する際には、市の意向が的確に伝わるような広報方法を検討されたい。
- ・市内高等学校における期日前投票所の開設により若年層の投票意識が高まったことは評価できるので引き続き推進されたい。また、高齢者等が投票所へ行けない場合の対応について検討されたい。

#### ○人事課

- ・カスタマーハラスメント対策として、職員を守るための体制づくりに努められたい。
- ・農業分野以外の地域おこし協力隊については、市の魅力発信に繋がるよう他市等の事例を参考にしながら進められたい。

#### ○アセットマネジメント推進課

- ・普通財産は貸付・売却等を含め可能な限り減らす方向で調査研究を進められたい。
- ・入札については価格高騰による不調が多いことから、予算計上についても各課へ指導されたい。

#### ○敷島支所市民地域課

- ・敷島保健福祉センター歩行浴プールの今後の在り方について、課題の把握に努めるとともに、市内温浴施設の集約等の状況を見ながら検討を進められたい。

## ○双葉支所市民地域課

- ・支所は地域住民にとって最も身近な窓口としての役割を担っていることを考慮しながら、引き続き利便性の向上に努められたい。

## 【財政部】

### ○財政課

- ・主要施策概要調書の記載に則り、適切な資金運用に関する調査研究を行い特定財源の活用を検討されたい。

### ○税務課

- ・DX化に伴い、国税と地方税の連携が進み詳細な情報がつかめるようになるので、市の歳入の根幹である市民税を適切に徴収できるよう調査研修を始められたい。
- ・航空写真を利用した滅失登記は、サービスの一環として引き続き進められたい。

### ○収納課

- ・現年度の収納率確保に注力し、収納率を低下させないことを念頭に業務を遂行されたい。また収納率の経緯についても市民に丁寧に説明を行われたい。

## 【市民生活部】

### ○市民戸籍課

- ・コンビニ交付システムを長期間休止する場合は、影響を受ける人がいることから市民への周知を徹底されたい。

### ○保険課

- ・保健事業の運営については、健康増進課と連携しながら、高齢者を中心に未受診者への勧奨方法を検討し適正に進められたい。

### ○市民協働推進課

- ・百楽泉の今後の在り方については、所管課が苦慮していることは承知しているが、クラインガルテン等も含めた多角的な方向から検討することも必要である。

### ○スポーツ振興課

- ・市民の健康維持、交流促進の観点からも、関係課と連携し各種スポーツを推進されたい。また、クラウドファンディングを活用したeスポーツイベントの実施についても検討されたい。

## 【環境産業部】

### ○脱炭素社会推進課

- ・温室効果ガス排出量削減を目指し太陽光パネル設置等による再生可能エネルギー導入でカーボンニュートラル実現に向け努力されたい。

### ○環境森林課

- ・剪定枝粉碎処理事業については、市民サービスの向上及び費用対効果の観点から、剪定枝の搬入方法やチップの利活用方法を含めた事業の在り方について調査研究するとともに、業務請負者への指導監督にも取り組まれたい。

### ○産業創造課

- ・デジタル商品券事業については、時代に即した取組として評価できる。費用対効果の検証や購入者からの意見を聞く中で、引き続き研究されたい。
- ・ふるさと納税については、体験型返礼品の人气が高まっており、関係人口の創出も期待できることから、課を跨いで連携しながら研究を進められたい。
- ・峡中広域シルバー人材センターについて、高齢者への就業機会の提供や社会参加の促進という目的は重要であるが、委託業務が適切に行われるよう十分に指導監督されたい。

### ○農政課

- ・クラインガルテン（特に、ゆうのう敷島）については、景観や立地を生かせるよう、関係課とも連携しながら今後の方針を検討されたい。また指定管理者が継続して安定的に施設運営できるよう指導されたい。

## 【福祉部】

### ○福祉課

- ・重層的支援体制整備事業については、引き続き関係課と協議し調査研究を進められたい。
- ・民生委員の報酬についてはアンケートを実施するなどの調査研究をしているが、人材不足という背景からも引き続き検討課題とされたい。

### ○障がい者支援課

- ・長時間勤務の慢性化については、職員の負担軽減に繋がるよう他自治体の取組を調査研究されたい。
- ・市単独の障害者手当事業については、市民サービスの低下を招かないよう引き続き実施されたい。

## ○長寿推進課

- ・ e スポーツなどフレイル予防につながる事業については、クラウドファンディングの活用など、関係課と連携し検討をされたい。
- ・ DX 化が可能な業務の洗い出しを行い、職員の負担軽減に努められたい。

## 【こども子育て健康部】

### ○子育て支援課

- ・ 児童館やしのはら公園等でクラウドファンディングの活用を検討されたい。

### ○健康増進課

- ・ かいてき BOX の中身については、より良いものにするため委託の仕方を研究し進められたい。

## 【まちづくり振興部】

### ○建設課

- ・ 広域連携による道路管理共同モデル事業については、収集したデータからの検証を行い今後の運用等について調査研究されたい。
- ・ 貢川の上流である双葉地区は急速に開発が進んでいることから、貢川の雨水対策を県にも働きかけて対応されたい。

### ○都市計画課

- ・ AI オンデマンド交通については、免許を返納している高齢者等交通弱者も多くいることから実証運行の結果を活用し、地域公共交通計画の推進を進められたい。
- ・ 委託契約については、特命随意契約は例外的であるということを念頭におき、引き続き契約先や契約方法を検討されたい。
- ・ 中下条公園駐車場については、路上駐車等の問題もあることから今後の検討課題とされたい。

### ○建築住宅課

- ・ 空き家対策については移住・定住につながるよう、関係課と協力しながら他市等を調査研究し、甲斐市独自の補助金等の施策を検討されたい。

## 【公営企業部】

### ○上下水道業務課、上下水道工務課

- ・簡易水道事業と水道事業の統合については、簡単なことではないため、統合以外のアイデアを出し、長期的な視点から検討されたい。
- ・双葉地区は配水場の規模が小さく不測の事態が起きた場合、断水等により市民生活に影響を及ぼすことが想定されることから、これらの課題に取り組まされたい。

## 【防災危機管理課】

- ・個人井戸所有者との協定締結については、災害時の水源確保ということからも進められたい。

## 【会計課】

- ・公金の振込件数削減に向けた取組を検討していることは良いことであるので、引き続き調査研究を進められたい。

## 【教育部】

### ○教育総務課

- ・奨学金貸付事業については、必要とする方が利用できるよう要件等の見直しを検討されたい。

### ○学校教育課

- ・給食施設整備計画は、大きな事業となるので国の動向を注視する必要がある。また、併せて今後の施設の在り方や運営方法についても調査研究されたい。
- ・これまで不登校の児童・生徒の教育場所の充実を図ってきたが、今後は受け皿対策にも注力されたい。

### ○生涯学習文化課

- ・電子書籍導入及び図書館施設の今後の在り方については、先進地視察を実施するなど、十分に調査研究されたい。
- ・公民館活動は高齢者のフレイル予防へと繋がる重要な事業であり、延いては医療費抑制へとつながる取組であるので、高齢者を対象とした活動にも積極的に取り組まれたい。

## 【議会事務局・監査委員事務局】

- ・タブレットの利活用については、より効果的・効率的な情報共有を目指し、調査研究を進められたい。

令和7年10月29日

甲斐市代表監査委員 小林 春 男

甲斐市監査委員 平 賀 和 久

甲斐市監査委員 赤 澤 厚